

## 第8回 日釣連チヌ釣りトーナメント大会要綱

令和7年2月6日

日釣連は、組織会員の交流と親睦を深め、同時に釣技とマナーの向上を図るため、以下の要綱でチヌ釣りトーナメント大会（以下本大会という）を開催する。

1. 本大会は、組織団体等から選出された各団体の選手によって競技する。選手はフェアな精神で試合に臨むこと。
2. 本大会は、組織団体のうちから毎年5団体が順次、審査役員を担当する。チーフが所属する団体が陣頭指揮を執り、サポート連盟とともに連携して大会運営にあたる。
3. 日釣連本部は、大会の運営をサポートし、全ての事項について最終決定権を有する。
4. 本大会の対戦者は、予め日釣連理事会で決定する。
5. 本大会は1本針のフカセ釣り（水中ウキ・沈みウキも含む）、使用する餌は下記規定に従う。紀州釣りおよびウキを使わない落とし込みや前打ちは禁止いたします。
6. 競技中の携帯電話の使用は禁止する。（ポイント・釣方などの相談を防ぐ為）但し、危険や緊急事態は除く。

### 試合について

1. 磯（堤防など）の割り振りは、審判の指示に従うものとする。  
場所によっては狭くなることも有るが、互いに話をして釣座を定めて下さい。
2. 選手は、互いに確認した釣場の境界線を越えて撒き餌をする。または仕掛けの打ち込みや流すことを禁止する。境界線を越えてヒットさせ、取り込んだチヌは当然無効とする。（特に沈めさぐり釣りは要注意）。但し、境界線内でチヌをヒットさせ、チヌが境界線を越えても掛けた選手が自己の境界線を越えずに取り込んだ場合は、有効とする。場所移動・試合終了直前に掛けたチヌの取り込みの猶予時間は3分以内とする。  
時間を越えて取り込んだ場合はその魚は無効とする。  
但し、その際、選手が境界線を越えての取り込みは無効とする。
3. 試合開始前にウキを流す、撒き餌を打つ、その他の潮を読む行為や、竿入れをした時は厳重注意とし、度重なる場合は失格とする。
4. 磯渡りは、審判の呼び出しがあってから各自荷物を触先まで持参し、審判の確認を取る。
5. 荷物は必要最小限にし、各自選手責任にて管理すること。  
紛失・波による流失・道具の積み下ろし、間違い等は選手責任とする。  
磯渡りは、安全を期するため体一つで渡り、荷物は次順番の選手または審判から手渡しする。この際、リュックサックは絶対に背負わないこと。
6. 本大会の審判は、大会役員の中から選任する。
7. 組織団体から本大会運営のお手伝いとして参加いただいた方々を補助役員とする。補助役員は、審査役員と同様の任務を分掌する。
8. 各連盟役員は、本大会出場選手に対し、本大会規定を熟知させる義務を負う。
9. 審査役員は、種々のトラブルの対処および役員間の連絡を密にできる体制で臨むこと。  
連絡網（携帯電話）を携帯する。

### 検量方法

1. 規定寸法無しで、黒鯛（チヌ）およびキチヌ（キビレ）全てを検量の対象とし、総重量で決定します。但し、規定寸法は釣況により変更する場合があります。
2. 検量後の黒鯛はすべて本部にて回収の為、活かして頂くように努力をお願いします。
3. 各試合における場所交代のインターバルは無しとする。
4. 1試合目は24名を2名1組とし、(60分交代×3)180分で試合。(2名枠3組ありで 90分で交代)  
2試合目は12名を3名1組とし、(40分交代×3)120分で試合。  
※1試合目について釣果がなかった場合ジャンケンにて勝敗を決定する(同重量の場合も勝敗はジャンケンとする)  
決勝戦は4名、(40分交代×3)120分で試合。  
(ロスタイムは認めない)420分(7時間)  
※決勝戦釣果がなかった場合は、1試合目、2試合目の重量差にて勝敗を決定する。【同重量はジャンケンとする】
5. 1試合目で釣果がなかった場合はジャンケンの勝者が勝ち上がる。(同重量の場合も勝敗はジャンケンとする)  
2試合目で釣果が無かった場合は、1試合目の重量差で勝敗を決定する。【1試合目が釣果無しや同重量はジャンケンとする】
6. 釣場の決定は対戦者同士でジャンケンにて釣場の決定の優先順位を有する。
7. 2試合目以降はサポートスタッフを付ける事が出来る
8. 選手はサポートスタッフ以外との私語は禁ずる。
9. 規定に違反した選手が出た場合、審査役員は直ちにその選手に対して注意をする。  
注意を受けた後も改まらないときは、審査役員はその時点で試合の終了を宣し、その選手は敗者となる。
10. 競技が終了したときは、選手は釣場を清掃しゴミを回収し持ち帰ること。
11. 決勝進出者2名に翌年度大会へのシード権を与える。

### 細則

出場選手の準備品（使用タックルなど）

1. 使用する餌の量は、合計2試合分

1試合、バクカン40cm1杯以内（サシ餌含む）を目安に用意する。

決勝戦の餌に関しては本部にて用意することとする。但しサシエサに関しては、各個人での準備をして頂く事とする。（前試合のまき餌も使用可能）

2. オキアミ・配合餌・サシ餌の種類は自由とするが、虫餌・貝類・カニ類及び生き餌は禁止。釣場で魚介類やその他生物等を取り、エサとして使用することも禁止。

サシエサをダンゴやマキエエサなどに包んで使用することも不可といたします。

2試合分は、選手でマキエなど1試合分ずつ袋に入れるなどして、各自で管理する。

3. 競技竿の使用は1本とします。予備竿の持ち込みは認めますがロッドケースに入れ、かつチャックを閉めた状態で保管してください。竿を交換した場合は使用していた竿も同様に保管してください。